

令和7年度 英語アンケート(三浦小学校)

1. 児童アンケート (2月実施)

	質 問 項 目	今年度
1	英語活動は楽しいですか。	88%
2	英語活動の中で、友だちやまわりの人に自分から進んで、話しかけようとしていますか。	88%
3	外国の人が話しかけてきたら、あなたはもうすると思いますか。	100%
4	毎日、Eタイムで英語を勉強することによって、英語にたくさん慣れ親しむことができましたか。	88%

※ 次の質問は、3年～6年生のみ

5	授業などで英語でやりとりをする時に、相手が答えたことに対して何らかの反応を返す（うなずく、“Really?” “Me, too.”等の驚きや感想を伝えるなど）ことができましたか。	100%
6	英語を書く活動は楽しいですか。	88%

※ 次の質問は、5年～6年生のみ

7	英語を書く練習をすることで、書ける単語や英文がふえましたか。	75%
---	--------------------------------	-----

※ 数値は、A(とてもあった)、B(少しあった)の肯定的な回答の合計値

【考察】

- アンケート結果から、本年度も多くの児童が英語活動を楽しんでいることがわかる。
- 【問3】今年度、A P Uの学生との交流や修学旅行での外国の人へのインタビューなどの外国の人とふれあう機会を取り入れたために、全員の児童が「英語で受け答えする」と回答している。
 - 【問5】では、全員の児童が「相手が答えたことに対して何らかの反応を返す（うなずく・くReally?”“Me, too.”等の驚きや感想を伝えるなど）ことができた」と回答を行っている。
 - 【問6】では、「英語を書く活動は楽しい」と回答した児童が昨年度や今年度の7月のアンケートより増えた。音と文字のつながり（フォニックス）を意識して書く活動を行ったため、スムーズ 書く活動のつながったので、児童にとって書くことが負担にならなかったのではないと思われる。
 - 【問7】では、「書ける単語や英文が増えた。」と5,6年生のだいたいの児童は肯定的に答えている。

昨年度や今年度の7月のアンケートに比べると、全体的に肯定的な意見がかなり増えた。その要因の1つと昨年12月に実施したA P Uの学生との交流会や5,6年生の修学旅行で外国の人へのインタビューなどの影響が挙げられる。普段の英語の授業の中で、英語の語彙力や会話力が身につけてきているが、実際に外国の人とふれあう機会は少なくA L Tの先生ぐらいである。やや興味・関心が感じられていない面が見られた。

しかし、今回のようなA P Uの学生との交流会や5,6年生の修学旅行で外国の人へのインタビューを通して、実際にいろいろな国の人たちと英語を通して交流することで自分が学んでいる英語が通じたことの喜びと英語を通して、いろいろな国の人について知ることができることが分かり、興味・関心がより高まったのではないと思われる。今回のアンケート結果より、学んだことを使って、実際に体験してみることの大切さを強く感じた。これからも交流の場を工夫していく必要があると思われる。

2. 保護者アンケート（2月実施）

	質 問 項 目	今年度
1	お子さんは主体的に英語活動に取り組んでいる。 (楽しそうに学んでいる。興味を持っている。など)	88%
2	お子さんは英語に対する知識・技能がついている。 (知っている英単語が増えた。発音がよくなっている。)	88%
3	お子さんは外国の文化などに興味・関心を持っている。	88%

※ 数値は、A(そう思う)、B(どちらかといえば思う)の肯定的な回答の合計値

【考察】

保護者の方から「APUの学生と交流会の話を楽しそうにお家でしてくれた。」「APUの学生と交流会でを通して、英語や外国の文化に興味を持つようになった。」などの肯定的な意見がみられた。一方、「子どもが家で英語活動の話をあまりしないので、アンケートに正しく答えることができませんでした。」などという意見もあった。

今年度も、保護者参観や学校公開日の授業などで、英語の授業を公開したり、浦っこフェスタでは、APUの学生と交流会の様子や自分の調べた国についての発表などを行い、英語学習の様子が多くの人によく見えるような取り組みも行った。

今後、保護者に英語の様子を見てもらう機会をさらに増やしていく必要があると思われる。全学年共通して英語の音読の宿題チェックや学校公開日や保護者参観に英語の授業を実施するなど保護者に子どもの英語学習の様子がさらに見えるように取り組んでいく必要

2. 教職員アンケート（2月実施）

	質 問 項 目	
1	今年度「英語活動」に取り組んできたことで、児童に変化はありましたか。	100%
2	具体的にどのような変化がありましたか。	
	○英語に対する興味・関心が高まった。 ○英語を話せるようになった。	
	○英語を聞き取れるようになった。	
	○周りの人と積極的にコミュニケーションが図れるようになった。 ○外国の人にはずかしがらず、話しかけることができるようになった。】	
3	今年度「英語活動」に取り組んできて、あなたに変化はありましたか。	100%
4	具体的にどのような変化がありましたか。(複数回答)	
	○実際に外国の人とふれあう機会を通して、英語に対する興味・関心がより高まった。	
	○外国の人とのコミュニケーションができるようになった。	
	○いろいろな国について興味・関心が高まった。	

※ 数値は、A(とてもあった)、B(少しあった)の肯定的な回答の合計値

【考察】

『今年度「英語活動」に取り組んできたことで、変化はありましたか。』の質問に対して、児童・教職員にも変化があったという肯定的な回答が多かった。特にAPUの学生との交流会や

5,6年生の修学旅行で外国の人へのインタビューなど実際に外国の人とふれあう機会を通して、児童・教職員ともに「英語活動」に対してより興味・関心が深まった。

来年度、児童数がさらに減少のため、コミュニケーション活動が限られてくる。そのため、小規模校などリモートでの英語学習・合同英語集会や外国の人とふれあう場の工夫し、多くのコミュニケーション活動ができる場を増やしていく必要がある。